

手術説明書

ほくろ・いぼ除去術

この説明書はほくろ・いぼ除去術についてその目的・内容・危険性などを説明するものです。
ご不明点は何でもおたずね下さい。

☑目的と内容

ほくろ・いぼを切除致します。

切除箇所に局所麻酔を注入し、無痛状態が得られてから処置に入ります。電気メスにて丁寧に止血を行い、切除の大きさによっては更に縫合を行います。外側を医療用ボンドでとめる事もございます。基本的に抜糸は必要ございません。処置の所要時間は切除量、手術範囲、出血量などで差が生じます。

☑危険性

再出血・血腫・感染・創部離開・アレルギー・皮膚壊死など

いずれも発生頻度は極めて低いですが年齢や併存疾患の有無、生活状況などにより個人差があります。

☑手術を行った後の経過と経過中に起こり得る問題

1) 痛み・腫れ・ひきつれ

ほぼ100%生じる症状です。術後1ヶ月で概ね、3ヶ月で自覚症状はなくなる方がほとんどですが、厳密には6か月から1年かけて創傷治癒の過程となります事をご承知下さい。

2) かゆみ

傷が治る際に生じます。

ワセリンの塗布をお勧めしております。

3) 硬結

部分的に、しこりの様に触れる事がございますが経過と共に柔らかく落ち着いていきます。

4) 乾燥

ワセリンによる保湿を推奨しております。時間経過で気にならなくなる方がほとんどです。

5) 傷跡・色素沈着・肥厚性瘢痕・ケロイド

切開縫合した跡が目立ちやすい方がいらっしゃいます。その場合白く抜けて見える事が多いです。肥厚性瘢痕として傷跡が盛りあがってくる方もいらっしゃいます。また、元々の体質によってはケロイドとなりますのでご注意ください。肥厚性瘢痕やケロイドの治療は行っておりません。

☑注意事項

下記にあてはまる方は事前にお申し出頂いております。休薬が必要なものに関しましては手術日までにかかりつけ医に調整をお願いして下さい。当日の体調によっては手術を中止と致します。

- 1)妊娠・授乳中の方、妊娠の可能性がある
- 2)これまで歯科の麻酔や局所麻酔でアレルギー症状があった
- 3)ヨード液の消毒でアレルギー症状があった
- 4)現在治療中、服薬中の疾患がある
- 5)抗凝固剤、抗血小板薬（ワーファリン、アスピリン、イグザレクト、バイアスピリン、プラビックス、エパデール等）を服用している
- 6)心臓病、糖尿病、便秘症、緑内障、脳梗塞、人工透析、高血圧症で治療、服用している
- 7)ケロイド体質（自己判断ではなく診断がついている場合）

☑手術後の生活について（下記は参考です。その他個別にも配慮致しますのでご相談下さい。）

シャワー：患部以外は当日より可能。患部は翌日より可能。

入浴：1週間控えて頂く事を推奨。

サウナ：1週間控えて頂く事を推奨。

飲酒・喫煙：1週間控えて頂く事を推奨。

運動：1週間控えて頂く事を推奨。

日焼け：1カ月は控えて頂く事を推奨。日焼け止めは半年以上使用。

☑偶発症発生時の対応

アナフィラキシーショック等、偶発症が発生した際には最善の処置を行います。医師が救急搬送を要すると判断した場合には直ちに救急要請を行います。なお、他院で生じた医療費は患者様のご負担となります。

☑同意撤回

一度同意書を提出しても、手術が開始されるまでは手術をとりやめる事ができます。とりやめる場合にはご連絡をお願い致します。ご予約のキャンセルに関しましてのルールはキャンセルポリシーに準じます。

キャンセル可能期間中のキャンセル：無料受付

キャンセル可能期間を過ぎてのキャンセル：施術+診察料の100%の料金をご請求させていただきます。

※天災やその他、証明書が発行されるご事情によるキャンセルである場合、料金は頂きません。